

**令和 8 年度大船渡市水産加工原魚転換支援事業
事業計画書作成要領**

この「事業計画書作成要領」（以下「作成要領」という。）は、大船渡市が実施する「令和 8 年度大船渡市水産加工原魚転換支援事業」（以下「本事業」という。）に関して、本事業による補助金の交付を受けようとする者（以下「申請者」という。）が事業計画書（大船渡市水産加工原魚転換支援事業費補助金交付要綱（以下「交付要綱」という。）様式第 2 号）を作成するために必要な事項を定めるものです。

なお、補助事業者は、予算の範囲内において、申請者から提出された事業計画書の内容を審査して決定しますので、記載内容については十分精査して提出してください。

項目	記載内容
1 事業の目的	本事業の目的を踏まえ、申請者の状況、課題（例：マイワシの水揚げ減少による影響など）のほか、本事業により、どのように申請者の経営の安定化を図るのか具体的に記載してください。
2 事業の内容	本事業で実施する内容について、実施する事業内容に応じて次の項目について記載してください。 必要に応じて別紙とすることも可とします。 (1) 加工品の試作開発を実施する場合 ア 本事業を実施することにより想定される効果 イ 転換前対象魚種の名称及び転換前対象魚種を使用した商品の製造、加工の実績 ・本事業の前提となる、現在入手困難となっている原材料（転換前対象魚種）の名称を記入してください。 ・併せて、自社において申請日から過去 5 年間にその魚種を主な原料とした商品を製造・加工した実績や、近年の水揚げ資源変動等により原料確保が困難となっている自社の状況（仕入高の減少など）を具体的に記載してください。なお、自社にとって相対的に入手困難である状況が客観的に分かる書類（仕入帳、伝票の写し等）を必ず添付してください。 ウ 転換後の魚種の名称 ・本事業において新たに原材料として使用する魚種等が、実施要領に定める次の【区分ア】【区分イ】【区分ウ】のいずれに該当するかを明記のうえ、原材料名を記入してください。 【区分ア：初めて扱う魚種への転換】 転換前対象魚種とは異なる魚種等であって、自社において過去 5 年間に製造・加工実績がない魚種。 （記入例：これまでサケ加工を行ってきたが、過去 5 年間に実

績のない「ブリ」へ転換する場合)

【区分イ：過去に実績がある魚種への回帰・追加】

転換前対象魚種とは異なる魚種等であって、自社において過去5年間に製造・加工実績はあるものの、近年の水揚げ状況等の変化に伴い、仕入先や商社等から安定的かつ継続的な調達見込みが立ち、新商品開発等を行う魚種。

※この区分を適用する場合は、具体的な「調達先」及び「調達方法（集荷ルート等）」を計画書内に明記してください。（記入例：近年はマイワシ加工を中心としていたが、水揚げ急減に伴い、過去に実績はあるものの現在は安定仕入の見込みが立った「サンマ」を原材料に再度追加する）

【区分ウ：未利用部位への転換】

転換前対象魚種そのものは変更しないが、これまで自社において利用実績（製造・加工実績）がない部位（魚皮、内臓等の廃棄部位）。（記入例：サケの仕入高は減少しているが、これまで廃棄していた当該魚種の「魚皮」を有効活用して新たな加工品を開発する）

エ 本事業で開発する予定の試作品の概要

・名称、試作の方法、試作品の製品化や販売に向けた見通し、特長などを記入してください。

オ （試作開発に必要な機械装置の購入又はリースを行う場合）機械装置の必要性及び所要規模の説明

カ 事業実施スケジュール

キ A L P S 処理水の放出による影響

・申請者において、A L P S 処理水の放出による影響（輸出先国の禁輸措置等）がある場合は、その影響の内容を具体的に記載してください。また、その影響を受けたことにより本事業に取り組む場合には、その旨を記載してください。

ク その他事業計画の説明に必要な事項

(2) 市場調査又は市場評価を実施する場合

ア 本事業を実施することにより想定される効果

イ 市場調査又は市場評価（以下「市場調査等」という。）の方法

ウ 市場調査等の結果の活用方法

エ 事業実施スケジュール

オ A L P S 処理水の放出による影響（上記(1)キと同様）

カ その他事業計画の説明に必要な事項

(3) 魚種転換に係るセミナー等を実施する場合

	ア 本事業を実施することにより想定される効果 イ 予定する講師の氏名、活動実績、依頼理由 ウ 予定するセミナー等の受講者等 エ 事業実施スケジュール オ A L P S 処理水の放出による影響（上記(1)キと同様） カ その他事業計画の説明に必要な事項																					
3 事業に要する経費	交付要綱別表に掲げる項目毎に整理して記載してください。 ・事業費の内、申請時点で消費税及び地方消費税が明らかな場合は予め差引くこと。 ・補助金交付申請額は千円未満切捨てとなります。 (記載例) <table border="1"> <thead> <tr> <th>[科目区分]</th><th>[内訳]</th><th>[金額]</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原材料費</td><td>試作品開発用原材料 ブリ 400 円/ k g × 100 k g</td><td>40, 000 円</td></tr> <tr> <td>機械装置の購入</td><td>ブリ加工用切断機 1 台</td><td>1, 500, 000 円</td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>取引先からの試作品評価指導に係る旅費 新幹線（東京都往復）・宿泊費</td><td>50, 000 円</td></tr> <tr> <td>事業費合計</td><td></td><td>1, 590, 000 円</td></tr> <tr> <td>補助金交付申請額</td><td>補助率 3/4（上限 100 万円） ※千円未満切捨て</td><td>1, 000, 000 円</td></tr> <tr> <td>自己負担</td><td></td><td>590, 000 円</td></tr> </tbody> </table>	[科目区分]	[内訳]	[金額]	原材料費	試作品開発用原材料 ブリ 400 円/ k g × 100 k g	40, 000 円	機械装置の購入	ブリ加工用切断機 1 台	1, 500, 000 円	旅費	取引先からの試作品評価指導に係る旅費 新幹線（東京都往復）・宿泊費	50, 000 円	事業費合計		1, 590, 000 円	補助金交付申請額	補助率 3/4（上限 100 万円） ※千円未満切捨て	1, 000, 000 円	自己負担		590, 000 円
[科目区分]	[内訳]	[金額]																				
原材料費	試作品開発用原材料 ブリ 400 円/ k g × 100 k g	40, 000 円																				
機械装置の購入	ブリ加工用切断機 1 台	1, 500, 000 円																				
旅費	取引先からの試作品評価指導に係る旅費 新幹線（東京都往復）・宿泊費	50, 000 円																				
事業費合計		1, 590, 000 円																				
補助金交付申請額	補助率 3/4（上限 100 万円） ※千円未満切捨て	1, 000, 000 円																				
自己負担		590, 000 円																				
4 添付資料	・事業に要する経費の根拠資料（参考見積書等） ・その他事業計画の説明に必要な資料																					